

市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



昔話「桃太郎」を手話でアレンジした「桃太郎」を演じた

— イオンモール宇城で耳の日ふれあい2026が開催 —

手話が言語として広まっていくために

2/28 手話への理解を深めることを目的に耳の日ふれあい実行委員会が主催したもので、約200人が参加。手話での演劇や意見発表などが行われ、手話の重要性が訴えられました。小学生の娘と参加した女性は「子どもが手話に触れたことがないので、指文字などからでも興味を持ってほしい」と話しました。



観光客へクイズ形式で浦島屋のガイドをする児童たち

— 三角西港で地元の児童たちがガイドを体験 —

ふるさとの魅力を子どもたちが語る

2/26 三角小と青海小の6年生児童49人が、三角西港ガイドを行いました。三角小では、4年前から同小の6年生が1年かけて三角西港のガイドを目指して学び、その成果を発表する取り組みを実施。今回、青海小の児童たちも加わり、8グループに分かれ同施設を訪れた観光客らへ、クイズを交え笑顔で説明していました。



参加者へ直接アドバイスする渡辺選手

— オリンピック2大会連続銅メダルの渡辺選手が指導 —

世界レベルの技術に触れる機会を

2/14 不知火体育館で渡辺勇大選手を招いたバドミントン教室が開催され、小中学生約50人が参加。世界レベルの選手と触れ合い、子どもたちに夢や希望を持ってほしいと、誘致企業のDOWAエコシステム(株)と市バドミントン協会が共催。渡辺選手は、子どもたちへ手本を見せながら熱く声を掛けていました。



14区の水野蘭選手が15区の小田陽登選手へたすきを繋ぐ

— 100.5キロをつなぐたすきリレー —

ふるさとへの思いを胸に疾走

2/8 第52回郡市対抗熊日駅伝が開催され、天草市から熊本市までの18区間100.5キロを19郡市の男女混合チームが駆け抜けました。この日は今季最強の寒波で、時折雪が舞う悪天候。加えて、チームはコンディション不良により選手変更を余儀なくされましたが、昨年度の7位を大きく上回る4位でゴールしました。



宇城彩館出荷協議会
小森大将代表



堀川さん夫妻

1/29 熊本県農業コンクール大会で豊野町の堀川博史さん、真奈美さん夫妻が新人王部門で優良賞、宇城彩館出荷協議会が地域貢献賞を受賞。堀川さんは、平成30年に就農し、新たな品目の導入や機械の有効活用による加工品などに取り組み、地元農業の発展に貢献。宇城彩館出荷協議会は、JA熊本うきと協力し、農業者と消費者をつなぐイベントや販路拡大などに貢献したことが評価されました。

表彰



1/26 松橋町の山中清貴さんが熊本県農林水産業功労者として表彰。山中さんは、トマト黄化葉巻病対策において中心的な役割を担うとともに、トマトの安定出荷やブランド力向上に尽力し、農林水産業の振興に貢献したことが評価されました。



ホールポストに向かう打球の軌跡を目で追う参加者たち

— 竹崎季長公顕彰第9回グラウンドゴルフ大会が開催 —

いつまでも同世代とのつながりを

2/23 地元にゆかりのある竹崎季長を称えるとともに、旧海東中時代の恩師から学んだ同窓生たちが交流を深めることを目的に、海東小で同大会が開催されました。大会には、同中の卒業生ら約140人が参加。参加者たちは、晴天の下、再会を喜び合いながらグラウンドゴルフに汗を流しました。



雲竜台から見える絶景を眺める登山者たち

— 三角岳山開きを開催 —

絶景を見ながら山頂目指して

2/22 三角岳山開きが開催され、市内外から約100人が参加。参加者たちは、市三角支所での安全祈願の後、標高406mの三角岳山頂を目指し約2時間かけて登頂しました。参加者からは「天草の島々や海を一望できる絶景は、想像以上で参加してよかった」などの感想が聞かれました。